

3Mジャパングループの地域貢献活動 御殿山小学校にて、こども向け科学実験教室を実施 ～ 児童 53 名が科学の楽しさを体験 ～

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：デニス・ラザフォード）は2017年9月6日（水）、品川区立御殿山小学校の6年生53名を対象に「力の科学」をテーマにした出張授業として科学実験教室を実施しました。



紙、クリップ、シールを使って丈夫な橋を作る様子

3Mジャパングループのこども向け科学実験教室は今年で22年目を迎えます。素材・日用品メーカーとして科学を扱う3Mジャパングループでは、次世代を担う子どもたちに科学をより身近に感じ、関心を高め、楽しんでもらうため、全国の主要拠点において地域貢献活動の一環として、毎年小学校高学年の児童を対象とした科学実験教室を開催しています。

御殿山小学校は、スリーエム ジャパン株式会社の本社の最も近隣にある小学校です。この出張授業は、児童に考え抜く力を身につけさせることを重視してさまざまな取り組みを行っている御殿山小学校の協力の下、毎年開催しており今年で4年目を迎えました。

今回の実験のテーマは「力の科学」で、紙とクリップとシールだけを使ってどのように丈夫な橋を作り出すかという課題に挑戦しました。力がかかる方向を変える三角形を使った構造、つり橋のように上から支える構造など、実は身近な橋で使われている「力の科学」について学びました。

当社社員のボランティアによって運営、実施される3Mのこども向け科学実験教室は、参加する社員にとっても通常の業務と異なる経験による刺激とリフレッシュの機会、またなによりの地域社会との貴重な交流の場となっています。3Mジャパングループでは、今後もこども向け科学実験教室の開催を通じ、ひとりでも多くの子どもたちに科学の面白さを知ってもらいたいと考えています。

【実施概要】

日程：2017年9月6日（水）

時間：① 3時間目 10：50～11：35

② 4時間目 11：40～12：25

※同じ授業を異なるクラスを対象に実施

場所：御殿山小学校（東京都品川区北品川5丁目2番6号）

授業プログラム：「力の科学」

- ・紙を使って橋を作ろう
- ・紙やガラス、カーボン繊維の性質や強さを学ぼう

【3Mの子ども向け科学実験教室】

米国ミネソタ州に本社をおきポスト・イット® 製品や道路標識用の反射材を開発した素材・日用品メーカーである3M社は1985年より、社員ボランティアやOBが地域の小学校を訪問し、科学実験講座を実施しています。全米各地で実施し、これまでに延べ約50万人の子どもたちが参加してきました。

日本では1993年にスタートし「子ども科学実験館」の名称で、旧本社（世田谷区）を始め、国内の主要研究・製造事業所である、相模原事業所、スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社山形事業所、同岩手事業所で実施してきました。

【3Mについて】

3M（本社：米国ミネソタ州）は、Science（サイエンス）を活かし毎日の暮らしをより豊かにすることを目指しています。売上高は300億ドルで、9万人の社員が世界中のお客様の課題解決にむけて、創造的なソリューションを提供しています。3Mに関する詳しい情報は、www.3M.com/@3M/ [@3MNewsroom](https://twitter.com/3MNewsroom) (Twitter)をご覧ください。また、3Mジャパングループについては www.mmm.co.jp をご覧ください。

3M、ポスト・イットは3M社の商標です。